

News Release

2024年6月28日

本公表文の発表、公表又は配布が法令又は規則の違反となる法域において、全体であるか部分的であるか、直接的であるか間接的であるかを問わず、本公表文の発表、公表又は配布をすることを意図するものではありません。

米ドル建無担保普通社債の発行条件の決定に関するお知らせ

武田薬品工業株式会社(TSE:4502/NYSE:TAK)(以下、「当社」)は、本日、米ドル建無担保普通社債(以下、「本社債」)の発行条件を下記の通り決定しましたのでお知らせします。本社債の募集は、2024年6月26日に証券取引委員会に提出したForm F-3(ファイル番号 333-280469)による当社の発行登録書及び当該Form F-3に含まれる目論見書の補完書類に従って行われます。

本社債は、当社の直接的、無担保かつ非劣後の一般的な債務で、当社の他の全ての無担保かつ非劣後の債務と清算時において同順位です。当社は、本社債の募集により調達する資金を、Shire Acquisitions Investments Ireland DAC(以下、「SAIIDAC」)が発行した2026年9月23日を満期とする年利3.200%のシニア債及びBaxalta Incorporated(以下、「Baxalta」)が発行した2025年6月23日を満期とする年利4.000%のシニア債に関して、本日発表した、当社の完全子会社であるSAIIDAC及びBaxaltaのそれぞれの公開買付に充当する予定です。当社は、本社債の募集により調達する資金の残額を、コマーシャル・ペーパー・ファシリティーからの負債の残高の繰上返済に充当する予定です。

記

2034年満期米ドル建無担保普通社債

(a) 社債総額	11億米ドル
(b) 利率	年 5.300%
(c) 払込金額	各社債の金額 100ドルにつき 99.724ドル
(d) 償還期日	2034年7月5日
(e) 払込期日	2024年7月5日
(f) 担保	なし
(g) 保証	なし
(h) 上場	なし

2044年満期米ドル建無担保普通社債

(a) 社債総額	8億米ドル
(b) 利率	年 5.650%
(c) 払込金額	各社債の金額 100ドルにつき 99.561ドル
(d) 償還期日	2044年7月5日

(e) 払込期日	2024年7月5日
(f) 担保	なし
(g) 保証	なし
(h) 上場	なし

2054年満期米ドル建無担保普通社債

(a) 社債総額	6億米ドル
(b) 利率	年 5.650%
(c) 払込金額	各社債の金額 100ドルにつき 99.570ドル
(d) 償還期日	2054年7月5日
(e) 払込期日	2024年7月5日
(f) 担保	なし
(g) 保証	なし
(h) 上場	なし

2064年満期米ドル建無担保普通社債

(a) 社債総額	5億米ドル
(b) 利率	年 5.800%
(c) 払込金額	各社債の金額 100ドルにつき 99.537ドル
(d) 償還期日	2064年7月5日
(e) 払込期日	2024年7月5日
(f) 担保	なし
(g) 保証	なし
(h) 上場	なし

本公表文は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み若しくは買付けの申込みの勧誘又は買付けの申込み又は売付けの申込みの勧誘(以下、「勧誘行為」)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもありません。

上記の有価証券は、規制当局による承認又は非承認を受けておらず、規制当局は、目論見書の補完書類又は発行登録書の正確性又は適切性に関する判断はしていません。

<武田薬品について>

武田薬品工業株式会社(TSE:4502/NYSE:TAK)は、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献することを目指しています。消化器系・炎症性疾患、希少疾患、血漿分画製剤、オンコロジー(がん)、ニューロサイエンス(神経精神疾患)、ワクチンといった主要な疾患領域及び事業分野において、革新的な医薬品の創出に向けて取り組んでいます。パートナーとともに、強固かつ多様なパイプラインを構築することで新たな治療選択肢をお届けし、患者さんの生活の質の向上に貢献できるよう活動しています。武田薬品は、日本に本社を置き、自らの企業理念に基づき患者さんを中心に考えるというバリュー(価値観)を根幹とする、研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニーです。2世紀以上にわたり形作られてきた価値観に基づき、社会における存在意義(パーパス)を果たすため、約80の国と地域で活動しています。詳細については、<https://www.takeda.com/jp/>をご覧ください。

<問い合わせ先>

<投資家関係問い合わせ先>

Christopher O'Reilly

クリストファー・オライリー

christopher.oreilly@takeda.com

+81 (0) 3-3278-2543

<報道関係問い合わせ先>

完戸(シシド) 綾

aya.shishido@takeda.com

+81 (0) 70-2819-9041

<将来に関する見通し情報>

本ニュースリリース及び本ニュースリリースに関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む武田薬品の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする(targets)」、「計画する(plans)」、「信じる(believes)」、「望む(hopes)」、「継続する(continues)」、「期待する(expects)」、「めざす(aims)」、「意図する(intends)」、「確実にする(ensures)」、「だろう(will)」、「かもしれない(may)」、「すべきであろう(should)」、「であろう(would)」、「かもしれない(could)」、「予想される(anticipates)」、「見込む(estimates)」、「予想する(projects)」、「予測する(forecasts)」、「見通し(outlook)」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の結果は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の結果とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一般的な経済条件を含む武田薬品のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品及び既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機、温室効果ガス排出量の削減又はその他環境目標の達成を可能にする武田薬品の環境・サステナビリティに対する取り組みの成功、人工知能(AI)を含むデジタル技術の統合をはじめとする、業務効率化、生産性向上又はコスト削減に向けた武田薬品の取り組みや、その他の事業再編に向けた取り組みが、期待されるベネフィットに寄与する程度、武田薬品のウェブサイト(<https://www.takeda.com/jp/investors/sec-filings/>)又は www.sec.gov において閲覧可能な米国証券取引委員会に提出した Form 20-F による最新の年次報告書並びに武田薬品の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本ニュースリリースに含まれる、又は武田薬品が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本ニュースリリースにおける武田薬品の経営結果及び情報は武田薬品の将来の経営結果を示すものではなく、また、その予測、予想、保証又は見積もりではありません。

以上